

まほろん

Saitakawa since 2001

2021 夏号 VOL.80

通信

Centri

Fukushima Cultural Property Centri



まほろんは

今年開館20周年!

表紙は、2009年開催

「まほろん夏まつり」のようすだよ



まほろんでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組んでいます。
特に体験活動についてでは、職員との接触や近距離での活動を控えています。
ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

- 企画展 「文化財をよみとく科学のチカラ」 担当者インタビュー
- 発掘よもやま話 丘の上の小さな砦
- 収蔵資料紹介 赤外線写真でよみとく文字資料
- 思い出まほろん 野外展示ができるまで



「文化財をよみとく科学のチカラ」



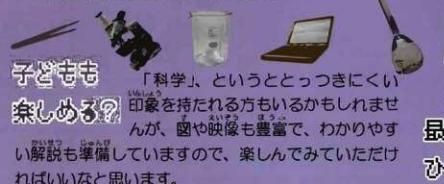
7月22日開幕の企画展「文化財をよみとく科学のチカラ」の見どころに生まれます！

どんな 展示？

わたしたちが遺跡や出土資料を考えるとき、あらゆる視点が必要になります。今は失われてしまった当時の環境は？目には見えない構造や材質は？この文化財はどうやって作られたんだろう？作られた年代は？この文化財を守るにはどうすればいいのか…などなど、謎がいっぱいです。

今回の展示では、それらの謎を解明し、さまざまな情報を文化財から引き出す科学のチカラに焦点をあてました。

科学のチカラでよみとかれたまほろん保管資料を、その手法の紹介とともに展示します。



**子どもたち
楽しめよう！**
「科学」というととっつきにくい印象を持たれる方もいるかもしれません。園や映像も豊富で、わかりやすい解説も準備していますので、楽しんでみていただければいいなと思います。

みなさんが小学校や中学校で習ったことも出てきまし、健康診断で使うエックス線透過程撮影を、文化財も同じように使っていますから、なんなく親近感をもってもらえるのではないかでしょうか。

表紙の1枚

2009年のまほろん夏まつりのようです。ご来館のおお客様から暑い夏の一日だったことが思い出されます。お客様の前に立つののは、故・藤本強元館長です。日本を代表する考古学者で、まほろん開館時から2010年までの約10年間、初代館長を務められました。往々り日の姿が懐れます。

まほろん 諸時更新中！

公式SNS フォロー＆チャンネル登録お待ちしています！

YOU
TUBE



INSTA
GRAM

丘の上の小さな砦 よもやま話

文・萩原 駿平（副主任学芸員）

福島市街地から相馬方面へ車を走らせること30分、眼下に、遙の駅「りょうぜん」を見おろす小高い丘に、「上ノ台館跡」とよばれる中世の砦跡があつたことは、専門家の中でも知る人が少ないのであります。今回はそんなマニアックな土づくりの砦跡のお話を、上ノ台館跡の南側の眼下には、江戸時代に「中村街道」とよばれることになる、幹道道路が通っています。この街道側から上ノ台館跡を仰ぎ見ると、幹道の岩垣が露出した急斜面に加え、この斜面をさらに削って階段段状に整えた「切岸」とよばれる防御施設がそり立っています。発掘調査当時（2017、2018年）、私はこの南斜面を毎朝登って現場に到着していくのですが、もしこの隙間に上から石でも落ちてきたら、ひとたまりもないなど油断をできないのです。おそらく中世の人々も同じことを考へ、守りを固めたのではないかと思うと武者ぶる気がします。

一方、この丘の最も高い所には、簡易的な塹で区切られた平場が



あるのですが、発掘調査を行っても建物跡などは発見できませんでした。また、当時の幹線道路から見ることがでない北側の斜面は人の手が加えられており、比較的簡単に登ることができます。そして最高所から北にのびる尾根道は、慾田氏（元の重臣）の居城「慾田城」の城下につながっています。つまり街道から見えないところは、防御が薄く、慾田城まで撤退ルートを確保したつくりになっています。

このようなことから上ノ台館跡は、幹線道路を行き交う敵方の動きに備えることに特化した「砦」の役割を担っていたのかもしれません。大規模な山城の近くの山中には、上ノ台館跡のような簡易的で小規模な砦跡がこれからも発見されるかもと思うとワクワクしますね。

赤外線写真で よみとく 文字資料

文：福田 勝生
(副主任)

墨で文字や絵が書かれた書簡や木簡などは、文字が書かれた時点から発掘調査で見つかるまでの長い間に風化したり、出土した後に空気にさらされて急速に文字が見えなくなる場合もあります。そうした見えにくくなったり読むには、文字を書いた墨などに含まれる炭素を吸収する性質を利用した「赤外線カメラ」が有効です。写真1は当館収蔵の玉川村江平遺跡から出土した木簡で、出土直後に撮影したモノクロ写真です。この木簡も赤外線カメラを用いて判読しています。

夏の企画展「文化財をよみとく科学のチカラ」では、最新の科学分析や調査方法によって、遺跡の成果や新たに解明できた事例を紹介する企画です。まほろんの「科学のチカラ」にご期待ください。



写真1
玉川村
江平遺跡出土 木簡
合一千卷百葉書 筆方吉精著奉
天平十五年三月四日

野外展示ができるまで

担当職員に聞く

聞き手・門脇 秀典

(専門学芸員)



かでも最大級の大きさのものが運ばれています。相当苦労されたのではないですか?

今野 当初、もう少し小さな住居で計画していたのですが、「見学に来た小学生がみんなで一度に入れる方がいい」とより大きな号住跡の図面をもとに書き直しました。そうすると生がみんなで一度に入れる予定地から大幅にはみ出していることがわかり、現住の形になりました。

豊平区の總部の豫元に豈ば庄園の總部の豫元に付いては、菅原さき職人の方と話し合いをしながら進みました。その中に「こだわった今野徹さん(現当財団遺跡調査部)に思い出話を聞きしました。

「純文時代の家の家」の復元のモデルとなつた豊穴住跡は、法正尻遺跡(猿代町・蟹桜町)のな

るうど。でもこれが全く逆効果でスノコの下から虫がわいだり、床が踏み跡まらないでモグラが無数に穴をあけたりしました。

●「奈良時代の倉庫(正倉)」も、当初の計画から変更がありましたか?

今野 モデルになつた関和清跡2号建物跡からは少額の瓦しか出土しておらず、坂越さの屋根だった可能性も考えました。そこで専門家の先生のご意見をいろいろお聞きして、最終的には礎石を用いた建物であります。今回は、開館前にこれららの施設の建設に携わった今野徹さん(現当財

團遺跡調査部)に思い出話を聞きました。ただ、「こういう時だからこそ、考え方や復元品がどのように散乱したのかをちゃんと記録にとらう」と静かに話す学芸員がいて、ようやく立ち上がり

てほしくて、頬み込んだりしましたね。その後、開館3年目に「奈良時代の家」は火事で全焼してしまいました。ショック

●「奈良時代の家」は、当頃床面にスノコが敷いてあった記憶があります。なぜですか?

今野 最初は、復元図や模型を作つたりしていろいろ考査ました。でも工事が進むにつれて、様々な意見や問題点が出てきます。それらに課題応対に対応し、難人さん達の声を聞くことで、なんとかなるものだと思いました。人間が作ったものを見つけるのですから、直接地面には置かないことをしていました。なのでスノコで

映像として残しました。

●「奈良時代の家」は、当頃床面にスノコが敷いてあった記憶があります。なぜですか?

今野 最初は「人は絶対、深夜に起きた火事だったのではないか」と思いました。その後は、東洋の火事で、なんとかなるものだと

いました。それが後には、東洋の火事で、なんとかなるものだと

思いました。人間が作ったものを見つけるのですから、直接地面には置かないことをしていました。その後は、東洋の火事で、なんとかなるものだと

いました。私は何もできずうなだれ

だなあと思います。



総文時代の家

まほろん通信では、過去振り返る記事も掲載しています。過去の写真を見返すと、と新鮮な気持ちになります。まほろんのこれまでにあったんだ、とこれまでの再発見する、懐かしいけれど

新しい発見作業となりました。

開館20周年を迎えるにあたり、まほろん通信では、過去振り返る記事も掲載しています。過去の写真を見返すと、と新鮮な気持ちになります。まほろんのこれまでにあったんだ、とこれまでの再発見する、懐かしいけれど

まほろんの主な今後の予定

*各講座・講演会は事前申込制です。

*新型コロナウィルス感染拡大状況等により予定が変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせ頂くか、まほろんのホームページをご覧ください。

7/22(木)から9/20(月)

企画展「文化財をよみとく科学のチカラ」

7/31(土) 第1回館長講演会「人類史と酒」

定員24名 7/1(木)午前10時から申込受付開始

8/8(日),29(日) 実技講座「大堀岸馬燃に挑戦」

定員12名 7/8(木)午前10時から申込受付開始

8/21(土),22(日)

文化財科学講座1「シンボジウム 鉄の道をたどる」

定員24名 7/21(水)午前10時から申込受付開始

9/5(日) 文化財科学講座2「文化財科学最前线!」

定員24名 8/5(木)午前10時から申込受付開始

9/18(土)

第2回館長講演会「演劇未定」

定員24名 8/18(水)午前10時から申込受付開始

10/3(日)

実技講座「土偶づくり」定員8名程度

9/3(金)午前10時から申込受付開始

まほろん
福島県文化財センター春白河館

〒961-0835 福島県白河市白坂一里段86

☎ 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ まほろん



まほろん
通信
vol.80

令和3年7月7日発行